

## 有峰湖周辺の蝶相(2022年7月6日～7月9日)

報告者:有峰森林文化村 石黒 秀雄  
:有峰森林文化村 加藤一雄

【有峰の蝶相】有峰の蝶は、富山県で確認された125種中、101種<sup>(1)</sup>約80%が記録されており、一地域では他に例を見ない豊かさである<sup>(2)</sup>。

### 【有峰の科別種数】

アゲハチョウ科7種、タテハチョウ科43種(テングチョウ科、ジャノメチョウ科、マダラチョウ科は、タテハチョウ科にカウント<sup>(3)</sup>)、セセリチョウ科13種、シロチョウ科7種、シジミチョウ科31種。計5科101種となっている。

※2022年7月6日～7月9日 猪根平、冷タ谷キャンプ場、有峰林道東岸線周辺

### 【蝶を守る意義】

①生態系の一員として他の生物とのつながりを持ち、花の受粉を行ったり、野鳥や他の生き物の餌になったりしている。

②蝶は植物や鳥など比べて減少などの傾向が早期に表れることから、環境の変化の指標として優れている。蝶を指標として生態系全体を守ることができる。

引用：(1) 常願寺川流域(有峰地域)自然環境調査報告 1996年3月25日 富山市科学文化センター

(2) 富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊(昭和56年7月)では95種

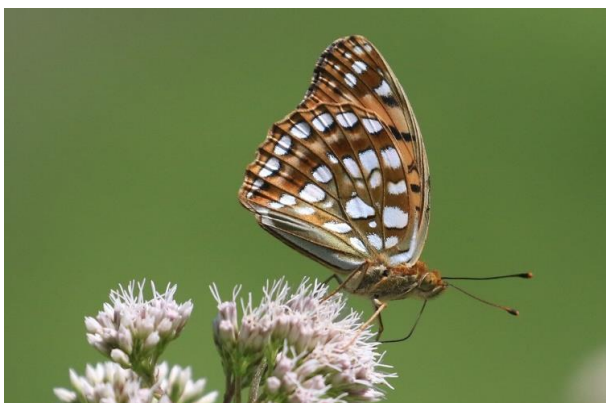
(3) 日本のチョウ 日本蝶類保全協会編 誠文堂新光社



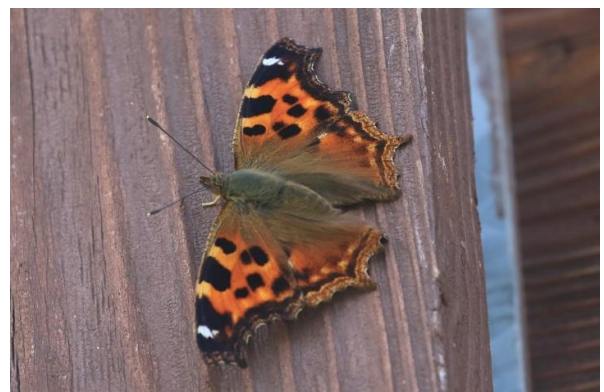
タテハチョウ科 ツマグロヒヨウモン 7月8日



タテハチョウ科 コムラサキ 7月8日



タテハチョウ科 ウラギンヒヨウモン 7月9日



タテハチョウ科 エルタテハ 7月8日



タテハチョウ科 イチモンジチョウ 7月8日



タテハチョウ科 ルリタテハ 7月8日



タテハチョウ科 ヒオドシチョウ 7月9日



タテハチョウ科(マダラチョウ科)  
アサギマダラ 7月8日



シロチョウ科 キタキチョウ 7月8日



シロチョウ科 スジグロシロチョウ 7月8日



アゲハチョウ科 キアゲハ 7月6日



シジミチョウ科 ジョウザンミドリシジミ 7月9日